

二本の橋は  
見て楽しい、渡って楽しい  
絶景スポット

ふるさと再発見



# 西海橋

Saikai Bridge

西 彼杵半島と佐世保を結ぶ「西海橋」が架けられたのは一九五五年のこと。四年の歳月をかけ、日本の最高技術を駆使して架けられた橋は全長三百十六メートル。当時、固定式アーチ橋としては東洋一を誇り、また全国初の有料橋としても大きな注目を集めた。

それから五十一年後、真っ赤な橋に並行するように美しいアーチ線型を描いた「新西海橋」が架けられ、二本の橋は今やすっかり観光名所となつてい

る。新西海橋の特徴は、なんとといっても橋の下を歩けること。橋の中央部分の足元には丸いガラス窓があり、下を覗けば、うず潮に吸い込まれそうになる。二本の橋の真下にある伊ノ浦(針尾)瀬戸は日本三大急潮ともいわれ、おり、海峡が大変狭いため干潮と満潮の落差が大きく、急潮を発生させる。

うず潮の見頃は毎年三月下旬から四月の上旬。二本の橋とうず潮、そして満開の桜のコラボレーションは圧巻の美しさである。

# 新西海橋

New Saikai Bridge

西海橋公園管理事務所  
佐世保市針尾東町2678  
TEL.0956-58-2004

西海橋 検索